

# テスト勉強計画表の作成について

## 1 はじめに

テスト週間に入ると、計画表を作らせることも多いです。私がこれまで経験してきたことを踏まえて、こうするといいなあと思う方法を掲載します。

## 2 テスト勉強の計画表

### (1) 全体を見渡す

○テスト範囲を明らかにする。

テストの一週間前にテスト範囲が発表される。勉強すべき全体の量をつかむ。

○テスト勉強ができる時間を明らかにする。

帰宅後から就寝までの時間のうち、テスト勉強に充てることができる時間を明確にする。

塾・習い事、夕食、入浴の時間を除く。

学校と同じように勉強50分休憩10分を一コマとして、何コマ勉強に使えるかを明確にする。

2教科連続で2コマ行い(100分間勉強して)、20分休憩という方法もある。

塾や習い事がある日、5限の日・6限の日など、日によって取れるコマ数が異なるので、日にちごとに何コマ取れるかを明確にする。

### (2) 各時間に教科を割り当てる

全体のコマ数が明確になり、テスト範囲も明確になった。

○以下のことを踏まえて各教科に割り当てるコマ数を考える。

※テストの前日は、そのテストの勉強を行う。テスト範囲の総復習を行う。

したがって、コマ数として数えない。

※テストの前々日くらいには予備の時間(コマ)を作っておく。計画は遅れるものであるから、予備の時間を1～2時間作っておく。

※テスト計画を立てるために1コマ必要である。

○各コマに教科を入れる。

一日の最初のコマや長い休憩後の最初のコマには、好きな教科・得意な教科を入れる。

得意な教科と苦手な教科を交互に行う。

## 3 その他

○休憩時間は、お茶を飲む、音楽を聞き流す、ぼ～っとする、寝転がる、などが良い。ゲーム、スマホ、テレビなどは見ない。

○やる気が出ないときは、まず机の上に使用するものを置き、「さあ、やるぞ。」と声に出す。

## 4 おわりに

定期テストは学習したことがどれだけ定着しているかを見定めることがねらいです。一方で、テストやテスト週間を活用して、生徒に力を付けさせるという考え方もできます。定期テストで良い点を取るにはどうすれば良いか、日頃から具体的に生徒たちに伝えたり、実践させたりします。定期テストで良い点が取れるような授業を組んだり、テスト勉強に取り組んだ結果、良い点が取れるような仕組みを作っていくことも重要です。定期テストで良い点が取れば、次の学習意欲につながっていきます。

現在は絶対評価なので、定期テストに限らず、いろいろな評価方法で良い点が取れば、良い評価・評定を付けることができます。全員に力を付けさせれば、全員に良い評価が与えられるので、教師としてもやりがいがあります。ちなみに以前は相対評価でしたから、生徒間に差が出るようなテストの工夫ということも必要でした。